

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト  
研究用ヒト臍帯血幹細胞バンク事業  
「研究用ヒト臍帯血の利用状況に関する調査」  
重ねて、ご協力のお願い

日頃は文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「研究用ヒト臍帯血幹細胞バンク事業」にご高配を賜り、有難うございます。

この度、文部科学省及び本事業の実施機関である東京大学医科学研究所及び理化学研究所バイオリソースセンターは文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト「研究用ヒト臍帯血幹細胞バンク事業」の一環として「研究用ヒト臍帯血の利用状況に関する調査」を企画し、先日、関連する多くの学会のご協力を得て、学会員の皆様に調査へのご協力をお願いする電子メールを差し上げました。

7月18日（金）までご回答をお待ちいたしておりましたが、お一人でも多くの方からご回答をいただきたく、甚だ勝手ながら、調査期間を8月4日（月）まで延長させていただき、再度、調査のご案内を差し上げることいたしました。

調査へのご協力をお願いする電子メールを複数の学会からお届けしている関係上、ご回答いただいた方にも、重複してご案内が届いてしまいます。既にご回答いただいた皆様には、ご協力に厚く御礼を申し上げますとともに、今回、お届けしたメールについては廃棄していただきますようお願い申し上げます。

この調査は、研究コミュニティにおける臍帯血細胞のニーズ把握を目的として実施するもので、具体的には臍帯血幹細胞を使った研究目的、研究用幹細胞の利用量、今後のご要望などをお尋ねします。

調査結果は今後の研究用ヒト臍帯血幹細胞バンク事業の展開を検討するための基礎資料として活用させていただきます。

その際、個別の回答内容を公開することは致しませんので、ご回答により皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

ご多忙の折に誠に恐縮ながら、調査にご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2014年7月18日

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト  
研究用ヒト臍帯血幹細胞バンク事業代表  
東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部  
東大医科研細胞リソースセンター准教授 長村登紀子  
理化学研究所バイオリソースセンター細胞材料開発室・室長 中村 幸夫